

平成30年度 第1回運営委員会 報告

日時：平成30年4月22日（日）13時30分～15時30分

場所：西部地域福祉センター 出席人数：30名

研修会報告

テーマ：災害対応ゲーム「クロスロード」part 2

講師：佐倉市危機管理室 防災班 内澤 周平氏 ・ 秋元 慶介氏

「これは正解のないゲームです。」と講師の秋元さんからの研修が始まりました。これは阪神淡路大震災の体験をもとに作られたゲームで、災害時に直面する様々な問題について考えます。あくまでゲームであり、数が多い意見が正しいこともないし、みんなはこう考えるかなと思って答えてもよいそうです。5人が1グループになり各々が「YES」と「NO」のカードを持ちます。真ん中に置かれたカードのお題について「ウーン」と悩みつつも、5人が一斉にどちらかを開きます。その後お互いにその答えを選んだ理由を述べ合うことで、多くの視点や価値観に出会います。講師の先生から「少数意見を大切にすることも大切です。そして今の高い意識を継続していきましょう。」とまとめていただきました。



※「クロスロード」のセットは、佐倉市役所の危機管理室で貸し出しをしています。

【アンケートの結果】（回収数：21）

○参加して、いかがでしたか？

①たいへん良かった	14	③まあまあ良かった	0
②良かった	7	④つまらなかった	0

○今日の研修会の感想をお聞かせください。（アンケートより抜粋）

- ・今回で3回目だが、グループの参加者がその都度違うので、メンバーが変わるたびに新しい発見がある。
- ・物資だけでなく、起きた時の心構えがいつも必要だと学んだ。防災への関心が高まった。
- ・自分はボランティア団体のリーダーですが、会合で使ってみたい。
- ・具体的内容で考える機会をいただけ、意見が聞けて、話せてよかった。
- ・他の方の意見に耳を傾けることで、自分の尺度との違いが分かってよかった。自分の考えや思いを他人に押し付けないように気を付けたい。
- ・ゲームは大変楽しかった。質問について考えるために頭を使った。自分の意見を出すのに、迷うことも多かった。
- ・状況を思い浮かべて考えていると、支援に行った時の体験がよみがえってきた。
- ・「災害対応ゲーム」に関連して、「避難所運営ゲーム」もボランティアさんならではの考え方があるので、参考になるかもしれないと思った。
- ・被災現場や避難所ですぐに役立つような、技術や知恵などの講習会もあるといいかも。